

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：秋どりブロッコリーの優良品種の選定（第 66 回千葉県野菜品種審査会）			
〔要約〕 秋どりブロッコリー栽培に適する優良品種は、花蕾径が大きく花蕾腐敗の発生が少ない「SK9-099」、「MKS-B107」、「YQQ191」、「BL-458」である。			
フリーワード [※] ブロッコリー 秋どり栽培 品種比較 品種審査会			
実施機関名	主 査	農林総合研究センター 水稲・畑地園芸研究所 東総野菜研究室	
	協力機関	日本種苗協会千葉県支部、(公社)千葉県園芸協会、生産振興課、JA ちばみどり、海匠農業事務所	
実施期間	2018年度		

[目的及び背景]

本県でのブロッコリー栽培は、温暖な気候を活かして秋冬どりが広く行われている。秋冬どりのうち、10月下旬～11月上旬収穫では比較的高単価が見込めるものの、この時期は花芽分化後の高温による異常花蕾や、台風や長雨による腐敗の発生等品質上の問題が多い。そこで、10月下旬～11月の秋どり栽培において異常花蕾、腐敗の発生が少ない品種を選定する。なお、本試験は第 66 回千葉県野菜品種審査会（ブロッコリー）として実施する。

[成果内容]

- 1 第 66 回千葉県野菜品種審査会（ブロッコリー）において、7月 27 日播種、8月 28 日に定植し、10月 26 日に審査した 14 品種のうち、入賞したのは「SK9-099」（(株)サカタのタネ）、「MKS-B107」（みかど協和(株)）、「YQQ191」（住化農業資材(株)）、「BL-458」（(株)プロリード）の 4 品種である（表 1、写真 1、写真 2、写真 3、写真 4）。
- 2 入賞品種はいずれもこの時期に問題となる花蕾腐敗の発生株率が 3.3～6.7%と低い（表 2）。「SK9-099」は花蕾径が 11 cm 以上で花蕾の生育に優れる。

[留意事項]

- 1 令和元年 8 月末日現在、「SK9-099」及び「YQQ191」は試験販売中若しくは販売中である。「MKS-B107」は来年に販売予定。「BL-458」は名称・販売とも未定である。
- 2 栽培を行った平成 30 年は、9月 30 日から 10月 1 日にかけて台風 24 号による潮風害があり、一部の品種で欠株が多く発生したほか、風害による傷等が花蕾腐敗の発生要因となった。

[普及対象地域]

県内のブロッコリー産地

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表 1 審査結果

順位	品種名	審査 番号	審査得点			出品社名
			立毛	収穫物	合計	
1	SK9-099	8	65.6	101.9	167.5	(株)サカタのタネ
2	MKS-B107	7	67.6	98.0	165.6	みかど協和(株)
3	YQQ191	10	63.9	90.5	154.4	住化農業資材(株)
4	BL-458	3	57.9	96.1	154.0	(株)ブロリード

- 注 1) 栽培場所は東総野菜研究室露地圃場（旭市）、土壌は典型淡色黒ボク土
 2) 平成 30 年 7 月 27 日に 128 穴黒色セルトレイに培養土「与作 N8 号」を詰め、
 1 粒播種し、同 8 月 28 日に畝間 60 cm、株間 35 cm で定植した
 3) 基肥は 10 a 当たり施肥成分量で窒素 12.8 kg、リン酸 19.8 kg、加里 12.8 kg とし、
 追肥は化成肥料で窒素 5.0 kg、リン酸 2.2 kg、加里 4.8 kg を 9 月 17 日に、
 台風通過後の 10 月 1 日に OKF1（15-8-17）の 1,000 倍液を 100L/10a 葉面散布した
 4) 気象概況：気温は概ね平年並みかやや高く推移し、降水量は 8 月第 5～6 半旬及び
 10 月第 2 半旬で平年より少なかったが、9 月第 5 半旬以降降雨が続いたほか、
 9 月 30 日から 10 月 1 日にかけて台風 24 号による降雨、潮風害が発生した
 5) 審査は平成 30 年 10 月 26 日に行った
 6) 配点は立毛審査 80 点、収穫物審査 120 点の合計 200 点満点



写真 1 「SK9-099」



写真 2 「MKS-B107」



写真3 「YQQ191」



写真4 「BL-458」

表2 入賞品種の花蕾生育及び花蕾腐敗発生株率

順位	品種名	審査番号	花蕾重 (g)	花蕾径 (cm)	花蕾腐敗 発生株率 (%)
1	SK9-099	8	320 ± 64	11.6 ± 1.8	3.3
2	MKS-B107	7	250 ± 74	8.5 ± 2.0	3.3
3	YQQ191	10	240 ± 46	7.4 ± 1.6	3.3
4	BL-458	3	250 ± 42	8.7 ± 1.4	6.7
		1	230 ± 31	7.2 ± 1.7	6.7
		2	280 ± 23	12.3 ± 1.5	46.7
		4	170 ± 40	4.2 ± 2.3	0.0
		5	290 ± 73	11.7 ± 2.6	40.0
		6	170 ± 34	3.8 ± 1.4	0.0
		9	210 ± 42	7.5 ± 1.6	6.7
		11	320 ± 53	13.3 ± 1.8	86.7
		12	220 ± 50	11.1 ± 1.8	86.7
		13	200 ± 42	5.1 ± 1.8	3.3
		14	280 ± 28	13.7 ± 1.2	100

注1) 1区15株2反復の平均値、表中の±は標準偏差を示す

2) 花蕾重は出荷姿(葉柄は花蕾径以下、茎は花蕾頂から18cm)に調製後に計測

3) 花蕾径は長径と短径の平均値

4) 花蕾腐敗は花蕾腐敗病、べと病、黒腐病によるものを区別せず発生株/30株で算出

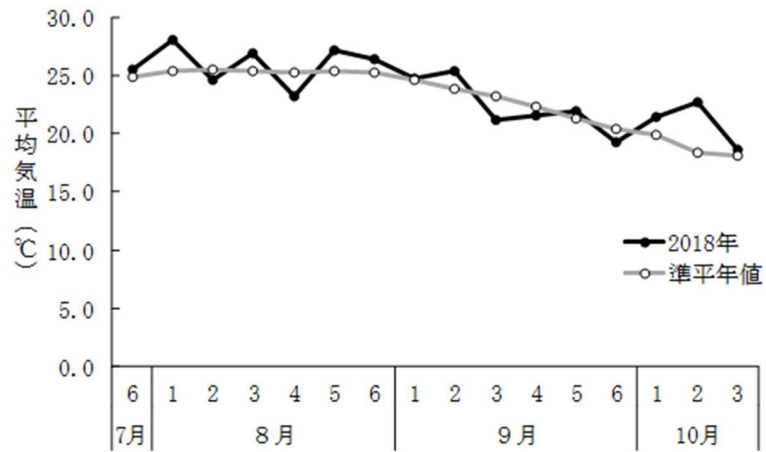


図1 半旬ごとの平均気温推移

注) 東総野菜研究室場内での計測データ

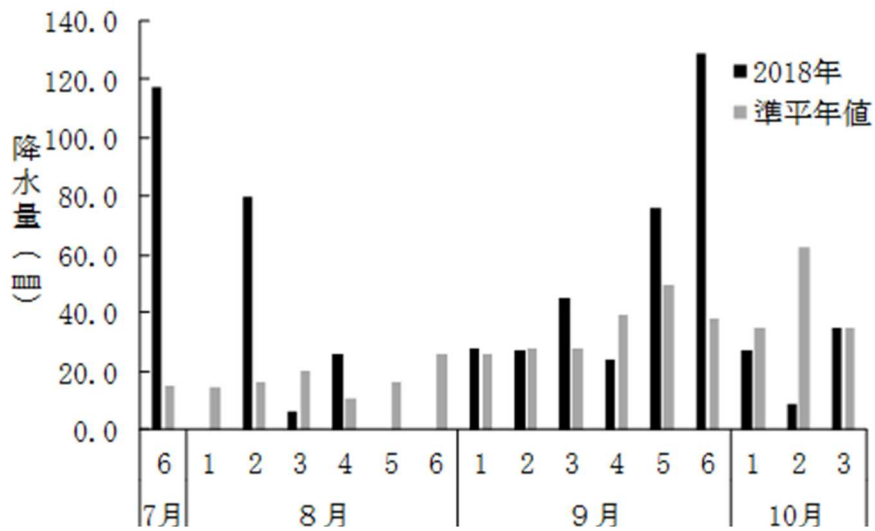


図2 半旬ごとの平均降水量

注) 東総野菜研究室場内での計測データ

[発表及び関連文献]

令和元年度試験研究成果発表会（野菜部門Ⅲ）

[その他]